

シーサイドギャラリー2022・夏

NPO砂浜美術館主催による「シーサイドギャラリー2022・夏」が8月15日(月)、3年振りに入野の浜で開催され、約3,000人が来場しました。

コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、盆踊りなどのイベントは行われず、花火の打ち上げのみの開催でしたが、花火の打ち上げ前から多くの人々が訪れ、会場の雰囲気を楽しんでいました。

午後8時になると、30分で1,500発の花火が打ち上げられ、夜空に咲いた大輪の花に来場者は歓声を上げていました。

町内から来場した安森英史さんと貴子さんは、「3年振りの開催ということでとても楽しみにしていた。とてもきれいで素晴らしかった」と話し、四万十市出身という松下直子さんは、「帰省した時の一番の楽しみ。花火だけでなく砂浜と波の音もすべて素晴らしかった。早くコロナウイルス感染症が落ち着いて、キス釣り大会などのイベントも復活してくれれば」と話しました。



町長メッセージ

敬老の日 に 際 して



黒潮町長 松本 敏郎

敬老の日にあたり、皆さまのご長寿を心よりお祝い申し上げます。あわせて、皆さまには、長年にわたり黒潮町の発展にご尽力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

本来であれば、直接お祝いを申し上げたかったところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、このような形でお祝いの言葉をお贈りさせていただきます。

今年度、100歳以上とされる方は8月1日現在で26名おり、うち今年度100歳を迎えられた方は9名でした。ここ数年で一番多い人数となっています。また、高知県全体としても100歳以上の方は増加しています。

時代は大正、昭和、平成と変遷し、令和を迎えました。これらの時代を生きてこられた皆さま方は、その人生で得られた知識や経験、あるいは多くの人との絆という、何物にも代えがたい宝物をお持ちです。皆さまには、これからも地域を支えていただき、誰もが健康で安心して生きがいを持った生活を送っていただきたいと思っております。

さて、新型コロナウイルス感染症について、私たちは3年目の闘いを続けており、変異するウイルスに対し、感染者の状況を確認しながらさまざまな事業やイベントを何とか継続できるよう、創意工夫しているところでございます。皆さまにおかれましても、日常生活にさまざまな制約が生じていることと存じますが、感染対策をすることで、感染を防ぐことができると推奨されておりますので、引き続き感染対策をしたうえで、お元気にご活躍いただきたいと思っております。町といたしましても、引き続きワクチン接種をはじめ、感染拡大防止策に全力で取り組んでまいります。皆さまには、改めましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、皆さま方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、私のお祝いの言葉とさせていただきます。